

PROG スコアによる入試の検証

多摩大学

1、「1年次リテラシー」による入試の検証

(1) 1年次リテラシーと関係が深いのは、回帰分析では、出身校ランク、TOEIC（グローバルスタディーズ学部）、ビジネス数学検定（経営情報学部）となっています。これらは、常識どおりです。学内提言をする際には、これらの入学前データ（出身校ランク、出身校評定、高校時代の欠席日数）を選抜にどう活用するかについて言及しています。

(2) 本学では、コンピテンシーとの逆相関がしばしば観察されます。そして、次のような現象につながっています。

- ① リテラシーが高めの学生が、就職活動時に「コンピテンシーの低さ」がハンデになるという現象。
- ② コンピテンシーが高めの学生が、就職活動時にその力を発揮する前に、リテラシーの低さから「学業につまずいてしまう」という現象。

2、「1年次コンピテンシー」による入試の検証

(1) グローバルスタディーズ学部 2020 年度入学生
コンピテンシーの「自信創出力」と「出身校評定」との間に正の相関が見られました。

(2) グローバルスタディーズ学部 2021 年度入学生
「コンピテンシー総合」と「高校欠席日数」との逆相関が観察されました。高校欠席日数が多いと、コンピテンシーが低い傾向、との分析結果となります。

3、「3年次リテラシー」

(1) 相関分析・回帰分析では、1年次リテラシーと関係が深い項目が、引き続き登場しています。

- ① 両学部の共通は、「高校ランク」
- ② 経営情報学部では、1年次の「ビジネス数学検定」スコア
- ③ グローバルスタディーズ学部では、TOEIC スコア

(2) グローバルスタディーズ学部では、コンピテンシーの「本質理解」との正の相関が観察されました。

4、「3年次コンピテンシー」

- (1)両学部とも、「1年次リテラシー」との逆相関が観察されました。
- (2)グローバルスタディーズ学部では、「学園祭満足」「学内友人数」との関係の深さを確認しました。

以上